

昭和60年度の予算総額

特別会計

水道会計



水道事業の経営では、事業収益十億千四百五十二万円を組みました。このうち給水収益(水道料金)は、九億六千六百万円で九五%を占めています。

また、事業面では安定した水が供給できるよう配水管布設費で二億二百十万円を計上し、配水施設の維持管理に二億七千万円を計上し、改良工事費で三千五百万円を計上し、取水井戸の代替掘き等取水施設の整備に万全を期すものとす。

老人保健医療会計



国民健康保健事業では、十五億二千九百二十三万円を組みました。


老人保健医療特別会計は、六十五歳から六十九歳までの重度障害者などの老人を含む七十歳以上の老人に係る医療の給付に必要な経費として十五億十四万円を組みました。

下水道会計



下水道事業特別会計では、十億七千七百五十五万円(このうち四億五千九百九十九万円は一般会計からの繰入金)を組みました。このうち五四・五%を投資的経費としての普通建設事業費にあてています。その内訳は補助対象事業費二億六千万円、単独事業費二億九千五百八十五万円、桂川右岸流域下水道負担事業費三千四百四十四万円となっています。本年度も幹線の整備および面的整備の促進を拡充を図ります。

農業共済会計



農業共済事業は、農家が不慮の事故により受ける損失に対し補償するもので、農業経営の安定と農業生産力の向上など農業の一層の振興を図るもので、本年度は、九百九十三万円を組みました。

収益的収入および支出の内訳は、農作物共済勘定四百六十五万円、園芸施設共済勘定七十八万円、業務勘定四百四十九万円となっています。

特別会計 五十四億五千七百七十五万円

市民のくらしを守り 健康と福祉の向上

- ▷ 70歳以上の老人に敬老記念品など 453万円
- ▷ 老人クラブの育成など 250万円
- ▷ ねたきり・ひとり暮らし老人に家庭奉仕員(ホームヘルパー)を派遣など 890万円
- ▷ 70歳以上の老人に市独自の年金支給 458万円
- ▷ ねたきり老人にシルバーホーン・ガス警報器の設置 105万円
- ▷ 低所得世帯の老人で入院している人に見舞金を支給 21万円
- ▷ 老人福祉センターの運営管理費 2,374万円
- ▷ 身体障害者の社会復帰やリハビリテーションのための施設入所に係る経費 1,699万円
- ▷ 重度身体障害者・重度精神薄弱者に対し、福祉タクシー券を交付 130万円
- ▷ 18歳以上の心身障害者に対して、障害者手当を支給 486万円
- ▷ ろうあ者世帯に設置したミニファックスなどの基本料金を補助 68万円
- ▷ 福祉関係団体・社会福祉協議会などに補助 1,284万円
- ▷ 勤労者に対し、住宅資金の融資と一部利子補給 666万円
- ▷ 新特産物試作試験・特産ナス省力施肥試験の委託 6万円
- ▷ 屈間里親に委託金を支給 162万円
- ▷ 母子・父子・障害者世帯に補助 684万円

- ▷ 無認可保育所および入所者に補助 547万円
- ▷ 保育所の運営管理、保育内容の充実 7億2,119万円
- ▷ 民間保育所に措置児の保育委託および保育内容の向上をはかるため助成 5,513万円
- ▷ 乙訓休日応急診療所の運営費 9,408万円



- ▷ 済生会京都府病院(特殊診療部門)運営費補助 553万円
- ▷ 病院群輪番制病院運営事業費 207万円
- ▷ 胃がん・子宮がん・乳がん検診などを実施するほか、成人病教室を開催し、成人病対策を充実 2,453万円
- ▷ 老人健康対策事業、老人の機能訓練事業など 1,273万円
- ▷ 乳幼児健診、母親教室、精神発達相談、歯みがき教室などの充実 759万円
- ▷ 痴呆性老人の短期保護 80万円



- ▷ 中小企業振興融資制度利用者に対して利子補給 3,540万円
- ▷ 水田利用再編対策事業 510万円
- ▷ 中堅産地育成対策事業 50万円
- ▷ 中小商店街の活性化の助成 356万円
- ▷ ふるさと産品推進事業 10万円
- ▷ 救急フェア開催事業および消防設備の拡充 88万円



住みよい生活環境の整備

- ▷ 道路の改良事業およびカーブミラーの設置、補修などの交通安全対策事業 2億5,000万円
- ▷ 都市計画街路事業の推進 2億6,000万円
- ▷ 都市下水道、小規模河川、排水路改良事業 1億1,000万円
- ▷ 都市公園、児童公園の改良整備
- ▷ 市民ふれあいの広場建設事業
- ▷ 公共下水道幹線、枝線の整備 4億5,000万円
- ▷ 65歳以上のねたきり老人等に自動火災警報器の貸与
- ▷ 公害対策費として、測定器具の整備
- ▷ 蜂駆除用防護服一般貸出用の設置
- ▷ ごみの分別収集、し尿収集体制の充実 5億5,000万円
- ▷ 住民ニーズを市政に反映させるための業務
- ▷ 広報向日市発行、盲人用声の広報テープなど広報の充実 1,000万円
- ▷ 街路灯の増設、改修、維持管理
- ▷ 交通事故を一掃するため交通安全教室などとともに放置自転車対策の一層の推進
- ▷ 地域防犯体制確立のための警報設備の整備
- ▷ 交通災害共済加入者に補助
- ▷ 阪急電車京都線連続立体交差化の事業費の調査



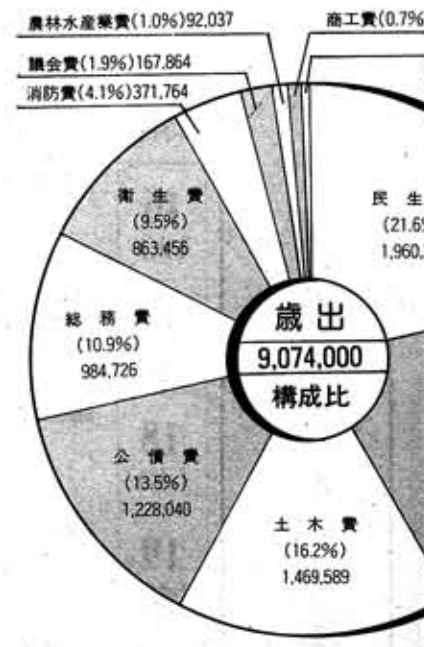
民生費	37,997円	消防費	7,205円
教育費	35,253円	議会費	3,253円
公債費	23,802円	商工費	1,276円
総務費	19,086円	農林水産業費	1,783円
土木費	28,484円	労働費	870円
衛生費	16,736円	諸支出金・予備費	127円

(単位：円)

95,172円

市民1人当たりの市税

- 市民税(個人) 46,056円
 - 市民税(法人) 9,991円
 - 固定資産税 24,166円
 - 軽自動車税 426円
 - たばこ消費税 3,251円
 - 電気税 2,872円
 - ガス税 163円
 - 都市計画税 6,475円
- (単位：円)



市民の1人当たりの予算(一般会計)は **175,879円** です

(S60.4.1推計人口51,592人)